

男女共同参画社会づくり に向けて



近年、少子・高齢社会への移行、家族形態の多様化など、女性を取り巻く社会的、家庭的環境は大きく変化を遂げております。

このような時代の流れの中にあつて、女性の果たす役割の重要性は改めて認識されてきており、女性の社会進出は、多種多方向へ広がりがつつありますが、社会制度・慣習といったものの多くは、家庭・地域・職場のあらゆる場において、男女が互いにその能力や個性を認め合い、共に参画することへの妨げとなつております。このような現状を踏まえたとき、これからの新しい社会は、女性と男性が一人の人間として自立し、お互いの人権を尊重し、共に創る「男女共同参画社会」の実現が望まれております。

本市では、男女平等や、女性の自立と社会参画を推進する総合的な施策の展開を進め、女性行政の総合的な企画や啓発事業、女性行政に係る諸問題の調査・研究等を積極的に実施してまいりましたが、今回、男女共同参画社会づくりに向けた情報誌を創刊することといたしました。これを機会にさらに市民の皆様が女性問題に目を向け、それぞれが家庭、地域、職場から男女共同参画を醸成していただければ幸いに存じます。

今後とも、女性問題の解決に向けて取り組み、大きな成果をあげることができるよう努めてまいりますと考えておりますので、市民の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成10年3月
大分市長 木下敬之助

中南九州都市 女性交流会議 報告

『女性の社会進出は少子 社会を加速する?』



昨年の11月に大分、佐賀、熊本、鹿児島、宮崎の5県の男女が宮崎市に集い、「女性の社会進出は少子社会を加速する?」のテーマでシンポジウムと、「人生の主役ーそれはあなた!」の演題で、スポーツキャスターの長田渚左さんの講演が行われました。

シンポジウムは宮崎公立大の中別府温和助教授を司会者に、同大学4人と大分、佐賀、熊本、鹿児島代表の女性4人が参加。テーマについて、参加者8人が賛成側と反対側に分かれて論議するディベート方式で行われました。

賛成、反対ともにそれぞれの意見の根拠となるデータを示し、それぞれに納得する内容でした。しかし、日本がかつて例を見ない高齢社会に向かっており、その中で少子社会に危機感を感じるためには、女性の「産む、産まない自由」を最大限に尊重したうえで、女性を家庭、企業で支えていかなければならないということで、閉幕しました。

求む!

ボランティア 編集委員

この情報誌にあなたの感性を求めます。男女共同参画社会づくりに向けた情報誌です。

市民と行政とのかけ橋として、さまざまな立場から参加して見ませんか。

- 募集人員…男女若干名
- 内 容…年2回発行予定。編集委員として、編集会議の他、取材・執筆・イラスト等で紙面づくりに協力できる方
- 応募方法…男女共同参画社会に対する考え、活動歴および応募動機を400字詰め原稿用紙1枚以内にまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ応募ください
- 受 付…随時
- 応 募 先…〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
大分市女性政策推進室

